

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		9-	4
事業名	子育て支援センター経費	会計	款	項	目
		一般	3	2	3
政策	2 次世代を育むために	課名	子ども家庭課		
施策	2-1 子育て支援の充実	係名	子育て支援センター		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	未就園の幼児とその保護者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	未就園の幼児とその保護者を対象に、保育園、幼稚園の場所を提供し、保護者とのコミュニケーションを持っていただくことにより住民の子育て支援を図る。
事業内容	月～金まで、「なかよし広場」を開催するとともに、月2回各園を開放するちびっこパークを実施する。また月2回各地区に出向いて行う「おでかけ広場」を実施し、未就園の幼児とその保護者を対象として受入れを図る。その中で、子育てに係る悩み相談や育児相談を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	子育て支援センター利用者数	900	1212		人/月	→	900
2								
3								
4								
5								
		令和3年度 (決算)		令和4年度 (決算)		令和5年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B				17,512	18,408	18,174		
財源内訳	直接事業費 A				2,212	1,506	1,272	
	うち一般財源				11,648	1,384	1,198	
人件費 (千円) B				15,300	16,902	16,902		
内訳	一般職員 (人・千円)		1.5	9900	1.47	9702	1.47	9702
	臨時職員 (人・千円)		3	5400	4.0	7200	4.0	7200

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	子育て世代のニーズに合わせた運営方法の検討と、利用者増にむけたPRを行う。また、地域の子育て支援団体の育成を図る。	③取組の課題	利用者が大幅に増加したことによって、個々の声が届きにくくなるように体制の見直しや、強化が必要な場合も考えられる。
②R4年度に実施した取り組み	母子保健事業との連携や、移転による利便性の向上により、利用者数が大幅に増加した。	④今後の改善計画	特に午後の利用者が増加しているため、保育者の適正数について検討していく。